

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■評価用マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ水無瀬 新築	階数	地上8F
建設地	大阪府三島郡島本町水無瀬1丁目7	構造	RC造
用途地域	市街化区域、法第22条区域、第二種	平均居住人員	232 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年11月9日
敷地面積	2,116 m ²	作成者	株式会社TOKI設計 安松高志
建築面積	977 m ²	確認日	2017年11月10日
延床面積	4,795 m ²	確認者	株式会社TOKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 76% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 76% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 76% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>良好な住環境を考慮した居住空間を目指した。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>住戸部は昼光を多く取り入れた設計となっている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物の維持管理が容易な設計となっている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>一次エネルギー消費量に関する基準を達成した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特になし</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>適切な駐車台数を計画し敷地外環境に及ぼす影響を考慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0097

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)プレサンスロジェ水無瀬 新築工事					
	建設地	大阪府三島郡島本町水無瀬1丁目749					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.1
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				